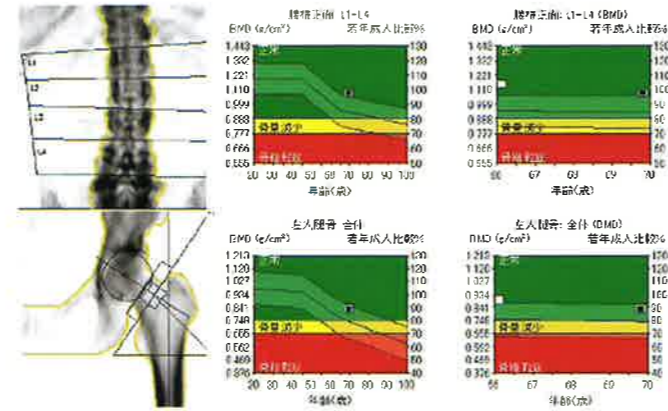


# 最新の骨密度測定装置導入!



当院では増え続ける骨粗しょう症患者さまへの対応として最新の全身用骨密度測定装置【プロディジ- Fuga】を4月に導入し稼働を開始しました。これまでの装置と違い、骨折のリスクが高い腰椎と股関節の骨をX線を用いて高精度で測定します。高齢者の骨折は『寝たきり』の原因のひとつであ

り、特に女性の場合は要介護状態になる原因の第5位となっています。将来の健康寿命を伸ばすためにも早い段階で骨密度を測定し骨粗しょう症の予防につなげて欲しいと思います。



## 【お知らせ】外来診療体制

整形外科		月	火	水	木	金	土
	午前	佐藤・津村	佐藤・伊林	佐藤(※)・★	佐藤・★	佐藤・津村	交代制
	午後	伊林	津村	佐藤	佐藤	伊林	

★手術のため不定  
 (※)水曜午前 佐藤医師(第1週 受付10:00まで、第2~5週 受付10:30まで)

内科		月	火	水	木	金	土
	午前	関下	目良	目良	関下 出張医	出張医	交代制
	午後	関下	関下	関下	出張医	出張医	

肛門外科		月	火	水	木	金	土
	午前	塩野	塩野	塩野	塩野	塩野	休診
	午後	塩野		塩野		塩野	

### 編集後記

今年のゴールデンウィークは本当に天気に恵まれました。私はアルパカを見に恵庭のえこりん村に行ってきました。何年も前からアルパカを見に行きたいと思っていて、やっと念願が叶いました。実際に会えた感想はやっぱり可愛かったです。愛くるしい顔を見ているとほんと癒されます。なんであんなに可愛いのでしょうか。犬のトイプードルみたいなモコモコでサイズも大きすぎずちょうどいい感じで、唾を掛けるという噂もありましたが全然大丈夫でした。帯広動物園には同じ仲間のラマがいますがアルパカはいません。きっと人気が出ると思うので動物園関係者の方はご検討下さい。(太田雄一郎)

# ハートフル♥協立病院

vol.35 2017.6.16



Ver.6.0認定病院

## 医療法人社団 刀圭会 協立病院

- 《基本理念》地域住民の皆様に対して「喜ばれる」医療を提供します。  
 《基本方針》1. 患者さまへの医療及び健康の保持増進に努めるとともに疾病の予防活動を提供します。  
 2. 在宅生活を支援すべく、保健・医療・福祉・介護の一本化に寄与します。  
 3. 患者さまの権利を尊重した入院環境の充実に努力します。  
 4. 十勝でのリハビリテーション医療の発展に貢献します。

### 今号の 記事紹介

432  
面... りんどう開設のお知らせ  
... 災害支援ナースをご存知ですか  
... X線骨密度測定装置導入のお知らせ  
外来診療体制・編集後記



## 医療法人社団 刀圭会 法人理念

医療・介護・保健・生活・福祉の一体化  
 ~「安全」「安心」「安らぎ」を提供できるグループを目指して~

刀圭会ホームページ <http://www.toukeikai.or.jp/>

### 協立病院広報誌

発行 協立病院広報委員会  
 発行日 平成29年6月16日

発行責任者 佐藤 幸宏  
 編集責任者 太田 雄一郎

**地域密着型介護老人福祉施設**  
**りんどう**  
 平成29年3月開設



〒080-0046 帯広市西16条北1丁目27番地144  
 TEL (0155)67-5759

**3月開設**

入居申込、介護に関する相談につきましては、各担当者へご連絡をお願い致します。

**地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)**

天然のモール温泉完備



●**地域密着型介護老人福祉施設 (特養) りんどう**  
 病院での医療的処置を終え、常に介護が必要な状態の方で、自宅での生活が難しい場合に入居する「生活の場」となります。協力医療機関である協立病院の医師による月1回の訪問診療に加え、歯科口腔外科とも連携し、定期的に歯科検診を行っていく予定です。  
 ●全個室 定員：ユニット型18名(2階) 従来型11名(1階)  
 【利用できる方】 帯広市の住民票を有し、介護保険法による要介護3～5の認定を受けている方  
 ☎67-5759 担当：松本(生活相談員)、岩崎(特養ケアマネジャー)

●**地域密着型通所介護りんどう (デイサービス)** 定員：1日18名  
 【利用できる方】 帯広市の住民票を有し、介護保険法による要介護1～5の認定を受けている方  
 ☎67-5759 担当：山田(生活相談員)、廣瀬(相談員兼介護職員)

**看護 小規模多機能型居宅介護**

「通い」をサービスの中心として、「宿泊」「訪問介護」「訪問看護」の4つのサービスを組み合わせサービス提供をします。



●**看護小規模多機能型居宅介護りんどう** 登録：29名  
 看護職員は6月現在で常勤3名、非常勤4名体制で日中勤務となります。医療的処置については内容と時間帯に合わせ看護職員の体制を都度検討します。将来的には24時間の医療的処置を目指して職員の資格取得を計画し、夜間対応を充実させ、痰の吸引、胃瘻、腸瘻処置等の必要な方に定期的な宿泊サービスを提供します。  
 【利用できる方】 帯広市の住民票を有し、介護保険法による要介護1～5の認定を受けている方  
 ☎67-5759 担当：富田(管理者)、吉守(看護多機能ケアマネジャー)

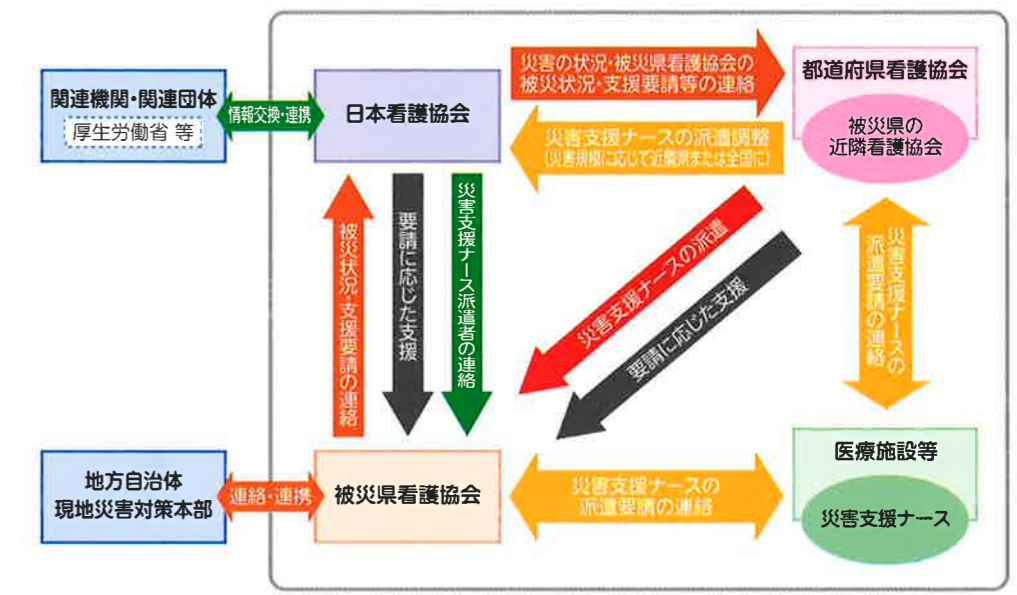
●**訪問看護ステーションりんどう**  
 (訪問地域…帯広全域、音更町下土幌以西、新緑り北2(似南))  
 【利用できる方】 医療、介護保険適応の訪問看護には、かかりつけ医の指示書が必要です  
 ☎67-5776 担当：高川(管理者)

<p>介護老人保健施設 <b>アメニティ帯広</b></p>  <p>〒080-0046 帯広市西16条北1丁目27番地7              Tel 0155-36-1234 Fax 0155-35-6020</p>	<p>介護老人保健施設 <b>アメニティ本別</b></p>  <p>〒089-3325 中川郡本別町西美里別6-18              Tel 0156-22-9311 Fax 0156-22-9322</p>	<p>社会福祉法人刀圭会 ケアハウス・デイサービスセンター <b>そうび苑</b></p>  <p>〒080-0046 帯広市西16条北1丁目27-127              Tel 0155-36-2088 Fax 0155-36-7290</p>	<p>社会福祉法人刀圭会 地域密着型 介護老人福祉施設 <b>にれの木</b></p>  <p>〒080-2472 帯広市西22条南1丁目11-13              Tel 0155-66-5111 Fax 0155-66-5115</p>	<p>社会福祉法人刀圭会 地域密着型 介護老人福祉施設 <b>ななかまど</b></p>  <p>〒080-0046 帯広市西16条北1丁目27番地50              Tel 0155-67-5745 Fax 0155-67-5746</p>
---	---	---	---	--

# 災害支援ナースをご存知ですか？

**災害支援ナースとは**  
 日本看護協会は、都道府県看護協会との連携により、大規模自然災害発生時に災害支援ナースを派遣し、災害時の看護支援活動を行っています。

災害支援ナースとは、看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職の事です。都道府県看護協会に登録されています。災害支援ナースによる災害時の看護支援活動は、自己完結型を基本としています。



## 災害支援ナース派遣の仕組み


大規模自然災害発生時には、災害の規模などに応じて「レベル1・2・3」に区分し、災害レベルごとに定められた方法で、日本看護協会または災害が発生した都道府県看護協会が災害支援ナースの派遣調整を行います。

### 【災害時支援の対応区分】

災害対応区分	災害支援ナースを派遣する看護協会	派遣調整
<b>レベル1 (単独支援対応)</b> 被災地看護協会のみで看護支援活動が可能な場合	被災地看護協会が災害支援ナースを派遣する	被災地看護協会
<b>レベル2 (近隣支援対応)</b> 被災地看護協会のみでは困難または不十分であり、近隣看護協会からの支援が必要な場合	被災地看護協会および近隣看護協会が災害支援ナースを派遣する	日本看護協会
<b>レベル3 (広域支援対応)</b> 被災地看護協会および近隣看護協会のみでは困難または不十分であり、活動の長期化が見込まれる場合	全国の都道府県看護協会が災害支援ナースを派遣する	日本看護協会

**災害支援ナースに登録して**

看護部 一般病棟 看護主任 堀田美枝



この度災害支援ナースの研修を受け登録をすることができました。救急医療と災害医療は異なり災害の種類や状況によって必要な看護が変わってくる事、個々の患者様における治療も制限を受けてしまう為限られた物資の中で看護を実践する為には原理・原則を知らずして安全な災害看護は出来ない。普段の看護実践から、なんだろうなぜだろうを考え災害時に備える必要があると感じました。また、コミュニケーション能力の重要性も学び、わかりやすい説明で納得してもらう事で、周囲も理解し、協力してくれる。そうする

ことで他の支援者と協働する事ができ、より良い看護が提供できるようになると思います。災害支援ナースは被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供し、被災した看護職の心身の負担を軽減するよう努める。看護職能団体の一員として派遣されることを意識した行動をすることが必要だと感じました。今後自分が支援ナースとして派遣される為には職場や同僚、家族の理解も必要です。普段から人を助けられる人、この人ならまかせられると同僚からも認められる実力を養っておく必要があります。日常から出来ない事は災害時に出来るはずがないので、日頃から現場で活躍できるように準備していきたいと思っています。今回の登録を機に職場や地域住民の方たちに訓練などを通して災害時に適切な行動がとれるよう自分が学んできた事を伝えていけたらよいと思っています。